



ぶらり相生第 28 号

平成 30 年 7 月

## 「兵庫県指定天然記念物 矢野の大ムクノキ」

相生高校は、夏季休業中です。生徒は、補習や部活動の試合等に、充実した日々を過ごしています。日々の忙しさを少しほぐしてくれるものに植物があります。相生には、文化財に指定されている植物があります。今回は、矢野の大ムクノキを紹介します。



文化財の分類の中に、天然記念物があります。ちなみに、文化財を大きく分類すると、7つに区分されます。有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、伝統的建造物群、文化財の保存技術、埋蔵文化財です。その内の記念物の中に、天然記念物があります。動物、植物、地質、鉱物の中から指定されます。

さて、矢野町森にある大ムクノキは、根回り 4.8 m、高さ約 15 m あり、樹齢推定 600 年以上といわれています。

堤にこのような大木が一本だけ残されているのは、この地に昔、荒神社の杜があって、御神木として崇められ、地域の人々に大切に保護されてきたからだといわれています。



また、すぐ近くにいわくら磐座神社がありますが、こちらにも兵庫県指定天然記念物の「コヤスノキ」があります。トベラ科の常緑低木で、

5 月頃新枝の先に淡黄色の花をつけます。中国地方中部、岡山県東部と西播地方に限り分布する珍しいものです。